

新病院の重点機能・分野における取り組み事項

資料3

1-1 救急・災害医療の強化・充実(救急医療)

現状

- 救命救急センター(3次救急)実施医療機関
- ICU※¹、CCU※²の設置 ※特定集中治療管理料は未算定
- 救急専用病床の設置

今後の検討課題

- 救急専門医や総合診療医、看護師等の人員体制の整備
- 救急外来のトリアージ機能強化・充実
- 急性心筋梗塞や脳梗塞、外傷等に迅速に対応できる診療体制
- ICU、CCU、SCU※³など特定集中治療室の強化・充実
- 安全で迅速な診断や治療、緊急入院が可能な施設配置及び患者動線の確保(検査や画像診断、手術、救急病床等との配置等)

※1:呼吸、循環、代謝その他の重篤な急性機能不全の患者の容態を24時間体制で管理し、より効果的な治療を施すことを目的とする病床および病室のこと。【主な施設基準】専任医師の常時勤務。看護配置は常時2:1以上。

※2:循環器系、特に心臓血管系の疾患を抱える重篤患者の治療を対象とした病床および病室のこと。診療報酬では、特定集中治療室として、ICUと包括されている。【主な施設基準】専任医師の常時勤務。看護配置は常時2:1以上。

※3:脳卒中患者の治療を対象とした病床および病室のこと。【主な施設基準】専任の常勤医が常時1名以上。看護配置は常時3:1以上。

1-2 救急・災害医療の強化・充実(災害医療)

現状

- 災害拠点病院の認定
- ヘリポートの設置
- 水・食料、医薬品、医療機材等の備蓄

今後の検討課題

- 災害時に重篤患者の救命医療を行うために必要な施設・設備
- 災害派遣医療チーム(DMAT)等の体制整備
- 堅牢な医療提供施設(施設の耐震構造化)
- 災害時での事業活動が可能な施設計画(トリアージスペース等)

※:企業や団体においては、大災害や事故などの被害を受けても、重要業務が中断しないこと、もしくは中断しても可能な限り短い期間で再開することが、利用客や取引先等の関係者から望まれている。BCPとはこの大災害や事故発生時における事業継続に備える計画を指す。

2 循環器系疾患医療の強化・充実

現状

- 循環器科、心臓血管外科の設置
- 循環器疾患治療施設、日本循環器学会認定研修施設等の認定
- ICU、CCUの設置
- 心臓リハビリテーション、脳血管リハビリテーションの実施

今後の検討課題

- 循環器疾患の最新かつ最良の診断と治療、内科的治療と外科的治療、リハビリテーションをより効率的に提供するため体制整備（例：ハートセンターの設置、脳血管治療センターの設置 等）
- 血管撮影装置を装備した専用手術室の設置
- 術後の集中治療管理室の強化・充実(ICU・CCU、SCU等)
- 救命救急センター等との効率的な患者動線の確保、施設配置

3 がん医療の強化・充実

現状

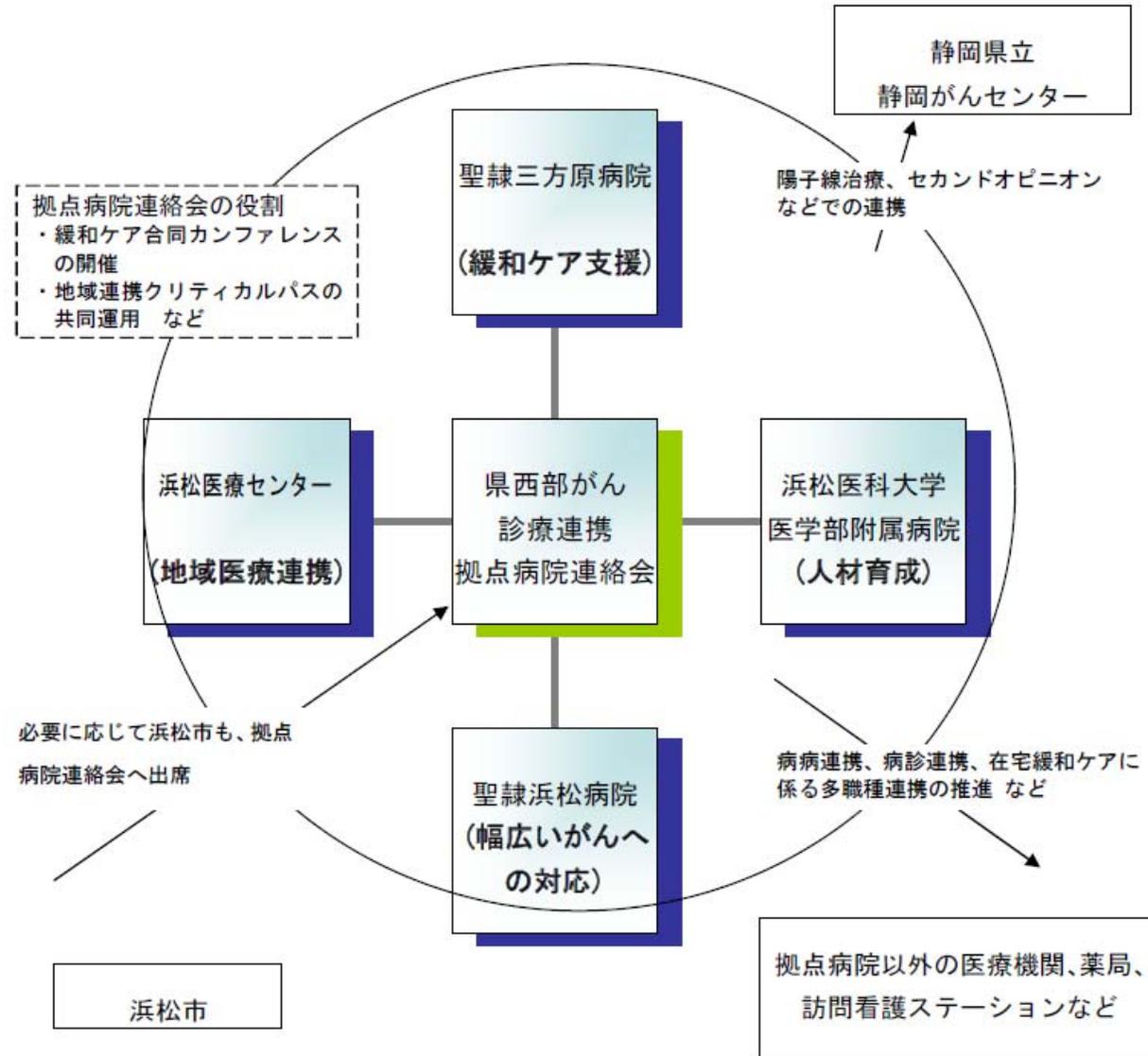
- 地域がん診療連携拠点病院の認定
- 乳房、甲状腺、腎尿路系(腎盂・尿管、前立腺)、肺、骨、皮膚、血液系(急性白血病、非ホジキンリンパ腫)の悪性腫瘍への対応
- 外来化学療法室の設置(13床)
- 緩和ケアチーム※による緩和医療の実施
- がん検診の実施(胃がん、肺がん、大腸がん、子宮がん、乳がん等)

今後の検討課題

- 低侵襲な内視鏡下手術(ロボット手術等)の強化・充実
- 消化器内科、消化器外科の連携による「消化器センター」の設置
- 放射線治療の強化・充実(放射線治療機器の増設等)
- 診断・治療・緩和ケア※等がんの集学的診療が可能な体制整備

※: 患者の身体的症状(痛み、食欲不振、全身倦怠感、呼吸苦など)、精神的症状(心の悩み、不安感、)等の緩和を目的として組織されたチーム

参考：市内の地域がん診療連携拠点病院の連携イメージ



出典：(仮称)浜松市がん対策推進計画

参考：浜松市における地域がん診療連携拠点病院の機能分担

主な取り組み内容	聖隷三方原病院	聖隷浜松病院	浜松医科大学 医学部附属病院	浜松医療 センター
がん専門医の育成				
医師派遣				
病院・診療所の行う緩和ケアの 支援				
口腔管理に係る病診連携の推進				
多職種チーム医療による 集学的治療				
小児がん拠点病院等との連携によ る小児がん患者への支援			(院内学級)	
リハビリテーション				
就労相談				
外国人対策（医療通訳の配置）				

(凡例) 各取り組みについての主担当（取りまとめ又は先駆的に取り組む）病院
各取り組みを行う病院

出典：（仮称）浜松市がん対策推進計画